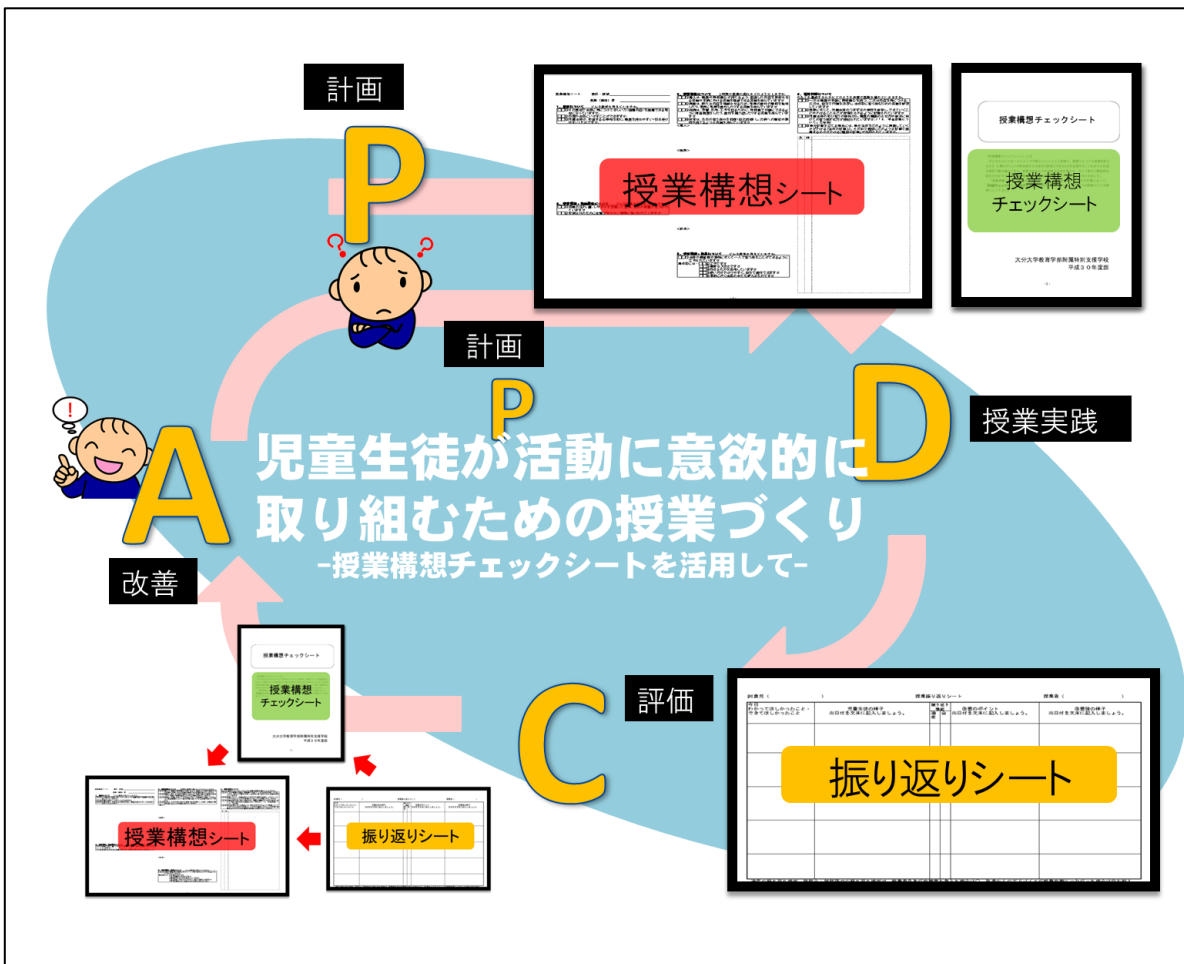
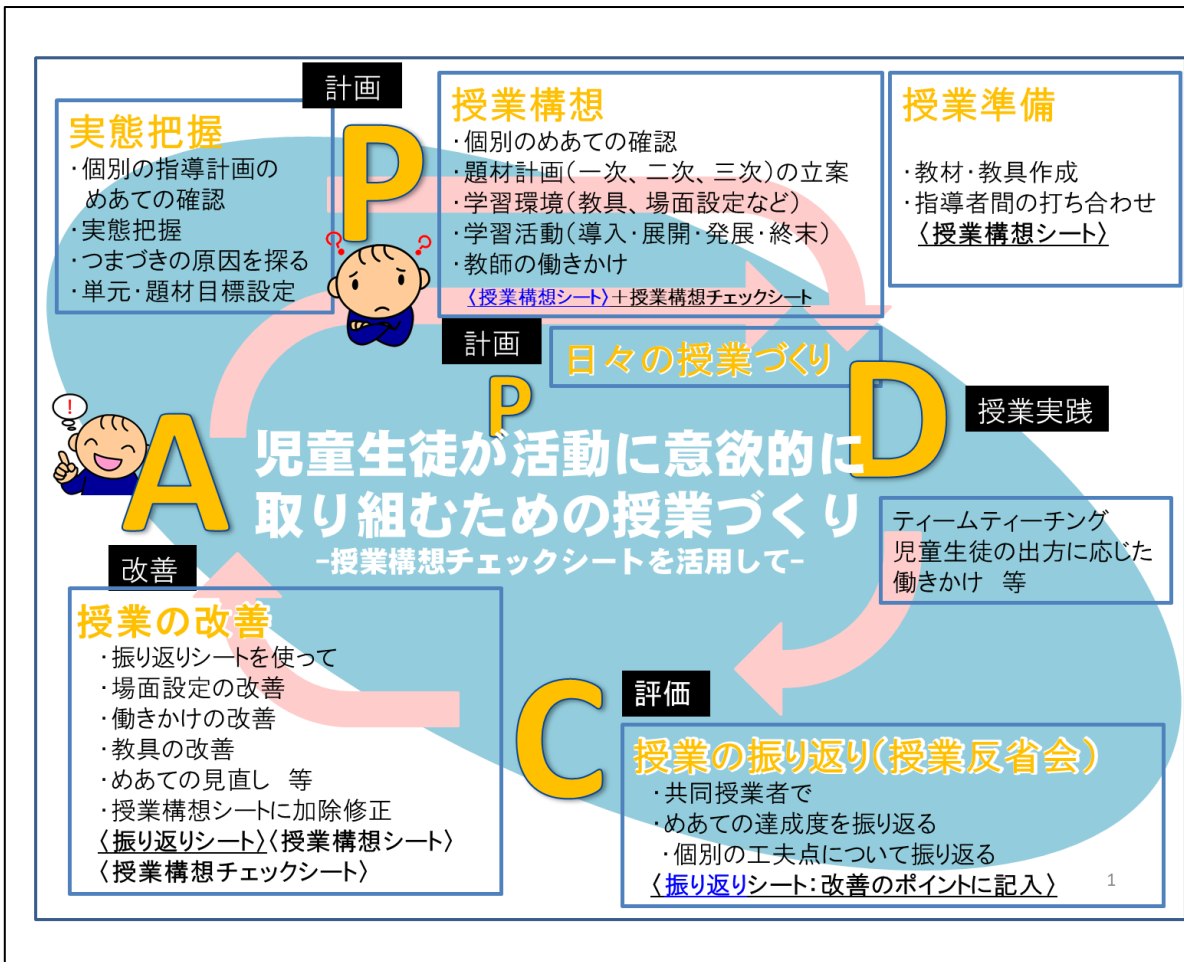


授業構想チェックシート

「授業構想チェックシート」とは

子どもたちにスモールステップで教えていくことと同様に、教師にとっても授業を考える上で、大事なポイントや具体的な工夫例など参考にできるものがが必要です。これまでの本校の研究で積み重ねてきた、授業を作る上での手順や大切な考え方、そして新たに意欲的な姿を引き出すための工夫を視点として『授業構想チェックシート』にまとめました。

「実態把握」から「教師の働きかけ」まで、授業を構想するときの手順に沿って、学習内容が身につくための授業構想に必要な視点《内容チェック》と意欲的な姿を引き出すための授業構想に必要な視点《意欲チェック》に分けて整理しました。ぜひ日々の授業づくりの参考にして下さい。



《使い方》

Q 1. どんな場面で使ったらいいの？

- A ア. 題材開始前に授業を構想する場面
イ. 題材の途中で、授業の見直しをする場面

など、いろいろな場面で活用できます。

Q 2. どんな使い方をしたらいいの？

A Q 1の場面ごとにお答えします。

ア. 題材開始前に授業を構想したいとき

- ①まず《内容チェック》の0～7を順番にすべてチェックをしながら授業構想しましょう。
※授業構想シートに具体的な工夫を書き込みましょう
※内容チェック0～7の項目はすべてをチェックして授業構想しましょう。
- ②さらに意欲的な姿を引き出すために、《意欲チェック》から児童生徒に応じて、必要と考えられる視点を取り上げましょう。
※意欲チェックの視点は、必要な視点を取り上げるようにします。意欲チェックの項目には『※友だちと学びあうために…』や『※深く考えるために…』、『※目的・目標を持って活動するために…』など、意欲的な姿ごとに視点を分けています。それぞれが設定した児童生徒が活動に意欲的に取り組む姿と対応させながら、各項目の必要な視点を取り上げましょう。
- ③授業構想シートで構想をしたら、さっそく実践です。

イ. 題材の途中で、授業を見直したいとき

- ①授業の後に、振り返りシートに記入しましょう。
※授業者は、授業が終わるごとに『振り返りシート』に児童生徒の様子を記入します。この時点では、授業がうまくいっていないということがぼんやりと感じられているでしょう。『教具がうまく使えていない』様子がみられていれば、授業構想チェックシートの『5. 学習環境：教具について』の項目を見直して、教具を改善しましょう。また、『子どもが自分から活動に取り組まない』などの様子が見られたら『4. 学習環境：場面設定について』の項目や巻末の事例を見直して改善したりするようにしましょう。
- ②アで作成した授業構想シートを準備しましょう。
- ③具体的な改善点を授業構想シートに加筆したり、追加した視点と工夫を授業構想シートに加筆したりしましょう。
- ④改善授業を行いましょ。

《目次》

授業構想していくためには…

《内容チェック：学習内容がしっかりと身につくように》

チェックしてみましょう・・・P1～

0. 実態把握から題材目標の設定について
1. 教材について
2. 題材計画について
3. 学習環境：場面設定について
4. 学習環境：課題、目的、役割、決まりなどの設定について
5. 学習環境：教具について
6. 学習活動について
7. 教師の働きかけについて

☆【授業構想シート】を使って授業構想をしましょう

《意欲チェック：児童生徒が活動に意欲的に取り組めるように》

チェックしてみましょう・・・P4～

1. 教材について
2. 題材計画について
3. 学習環境：場面設定について
4. 学習環境：課題、目的、役割、決まりなどの設定について
5. 学習環境：教具について
6. 学習活動について
7. 教師の働きかけについて

☆題材の途中で、【振り返りシート】で児童生徒の様子を記録し、授業改善をしましょう

【実践事例集（チェックシートの巻末に実践事例を掲載しています）】

《内容チェック：学習内容がしっかりと身につくように》

0. 児童生徒の実態把握

①個別の年間指導計画で教材、題材目標を確認しましょう

②前年度の個別の指導計画の評価やチェックリストで到達状況を確認しましょう

③題材の個別の指導内容を具体化しましょう

④実態表を作って、実態把握をしましょう

(実態把握について)

実態把握のための情報収集には、検査を用いたり、実際に児童生徒の行動観察を行うこと等、色々な方法があります。ここでは、行動観察を行う際のポイントを紹介します。

- ・子どもがどんなことができている、どこでつまづいているのかや、したこと、しなかったことについての分析のために、“どんな仕方だったのか”や“教師とどんなやり取りをしたのか”などを詳細に記録をしましょう
- ・作業学習や清掃、着替えなどではあらかじめ記録する行動を決め、記録しやすい表を作成し、仕方や回数、かかった時間などを記録することが適している場合もあります
- ・複数の教師で情報収集したり、分析したりするとより正確な実態把握となります

⑤つまづきの原因を考えて指導する内容を決定しましょう

実態を調べると、複数のつまづきが見られることがあります。題材においては、時間数に限りがあり、すべてのつまづきを指導することはできません。また、子どもにとっても、一度に多くの問題を解決していくことは負担がある場合が多いです。そこで、いくつかのつまづきの中から優先的に指導する内容を定めることになります。

そのとき、以下の3点から検討しましょう。

(1) 本当にこの題材で達成が可能ですか【可能性】

(2) 現在の生活の中で、困っていることや指導しておく必要がありますか【必要性】

(3) この教材は将来の豊かな生活につながる価値がありますか【価値性】

いったんここで、**1. 教材について**の項目をチェックしましょう

0. 題材目標の設定

⑥題材目標を決めましょう。目標を設定するときは以下の3点を基本に考えましょう

(1) 子どもの実態は様々です。それぞれの子どもの目標の**個別化**をしましょう

(2) 授業の評価・改善ができるように、題材の最後の姿(到達像)の**具体化**をしましょう

(3) 子どもにとって、多くの事を一度に学ぶのは、難しいことがあります。身につけたいことを**焦点化**しましょう

⑦個別の教育支援計画を確認しましょう

本人の将来の夢や保護者のニーズなどとの関連について確認や把握をしましょう

⑧前単元や題材で意欲的に取り組めた工夫を活用しましょう

例：教材の仕組み、学習環境の工夫など

《内容チェック：学習内容がしっかりと身につくように》

1. 教材について

《基本の考え方》 どんな教材を考えていますか

- ①その題材で生徒に身につけてほしい力（指導内容）を指導できる教材になっていますか
- ②日常の生活にいかすことができますか
- ③児童生徒が、学習する必要性を感じ、課題を持ちやすい（引き受けやすい）ものですか

2. 題材計画について

《基本の考え方》 めあてを達成するためにどのような手順で授業を進めていきますか

- ①一次は課題や学習に興味関心を持つ、二次は内容を身につける、三次は、自分で行動を決定し、主体的に取り組むための活動を設定していますか
- ②実態に応じて、児童生徒のつまずきの原因を解釈し、できていくことやわかることなどが段階化されるように計画されていますか
- ③児童生徒の学び取りの傾向から、課題の意識のさせ方や解決に向けての取り組ませ方が検討されていますか。（「6. 学習活動について」も参照）
- ④単元計画を立てる場合には、単元全体をどのように展開していくかがわかる「全体の計画」と、その中で個別にどのような計画で指導するのかがわかる「個別の計画」が作成されていますか

3. 学習環境：場面設定について

《基本の考え方》 どんな仕組みを考えていますか

- ①活動の流れ、量、しやすさを考慮して道具、材料の配置が考えられていますか
- ②学習以外のものに注意が向かない環境に整えられていますか

4. 学習環境：課題、目的、役割、決まりなどの設定について

《基本の考え方》 どんな仕組みを考えていますか

- ①活動やその仕方、手順がわかりやすく伝えられるものになっていますか
- ②学習や活動の成果が見てわかるようになっていますか
- ③自分で仕方、手順、活動を確かめられるようになっていますか

5. 学習環境：教具について

《基本の考え方》 どんな教具を考えていますか

- ①生徒の機能面や特性に応じて一人で取り組むことができるように工夫されていますか
- 具体的には…
- ②丈夫ですか
 - ③適度な大きさですか
 - ④好きなものを活用していますか
 - ⑤使い方がわかりやすく、自分で操作できますか
 - ⑥実物に近く生活の中でも使えるものですか

6. 学習活動について

《基本の考え方》 1時間の授業の流れをどのようにしますか

- ①導入は、課題や興味関心が持てるよう、既習した内容を想起させる活動や本時における活動を理解できる活動を組んでいますか
- ②展開は、新たな内容を理解させるため、教具の操作の意味を説明したり、実際に教具を操作したりする活動を組んでいますか
- ③発展は、定着、応用、工夫を図るために、短時間で正確にできるように練習問題をしたり、操作を繰り返したりする活動を組んでいますか
- ④終末は、今日の取り組みを評価（自己評価）し、次時への意欲や期待を持てるような活動を組んでいますか

7. 働きかけについて

《基本の考え方》 めあてに迫るためにどのような働きかけを考えていますか

- ①児童生徒が自分で考え、判断し、行動を起こす手助けをするという視点で働きかけが考えられていますか
- ②“何のために働きかけをするか”という教師の意図は明確になっていますか
- ③『活動を始めるとき』、『活動しているとき』、『児童生徒の活動に支障が生じたときや困った様子するとき』、『活動が終わったとき』など、場面や状況をとらえたタイミングで働きかけが考えられていますか
- ④『活動を始めるとき』、『活動しているとき』、『児童生徒の活動に支障が生じたときや困った様子するとき』、『活動が終わったとき』など、場面や状況に応じた内容の働きかけ（誘い、示範例示、助言、説明、問いかけ、盛り上げ、賞賛、励まし、認め、意味づけ、意識づけ など）が考えられていますか
- ⑤児童生徒の実態に応じた働きかけの形態（身体接触による、動作による、言葉かけによる、教具などの提示による）が考えられていますか
- ⑥授業全体を通して、児童生徒に伝わりやすい言葉や提示の仕方が考えられていますか

《意欲チェック：児童生徒が活動に意欲的に取り組めるように》

1. 教材について

○あなたが考える意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

- ④児童生徒の生活に身近な事柄や事象（例：「○○ごっこ」）を取り上げていますか ②“何のために働きかけをするか”という教師の意図は明確になっていますか
- ⑤絵、写真、ビデオなど具体物を使用するなどの工夫ができますか
- ⑥課題を持ちやすいものですか
- ⑦児童生徒が自分でルールを決めたり、役割を設定したりすることができますか
- ⑧児童生徒の好きなもの、活動が含まれていますか
- ※自分から進んで活動するために…**
- ⑨ゲーム的要素を含み、遊技化できるような仕組みになっていますか

《国語、算数・数学ではどんな教材があるの？》

国語、算数・数学では、これまで多くの教材を取り上げて授業実践を行ってきました。一人ひとりが社会の中で豊かに生きるために、まずは身に付けた力を日常生活の中でも活用できるように、また児童生徒が意欲的に取り組めるように教材の工夫をしてきました。以下は代表的な教材一覧です。

	生活経験のあるもの	ゲーム的要素のあるもの
国語	お弁当屋さん 遠足ごっこ 配達ごっこ はがき書き 等	宝探しゲーム 犯人探しゲーム カルタづくり 等
算数・数学	お使い買い物 動物えさやり レストランごっこ 給食ごっこ 七夕 お菓子配り 1日のスケジュール作り 等	人生ゲーム すごろくゲーム ボウリングゲーム 玉入れゲーム 魚釣りゲーム 輪投げゲーム つかみ取りゲーム 電車で九州一周ゲーム 等

2. 題材計画について

○あなたが考える意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

《一次の工夫》

※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

- ③教材の仕組みを理解したり、楽しさを感じたりできるように計画していますか

※目的、目標を持って活動するために…

- ④活動の意味やよさが十分理解できるように計画していますか

《二次の工夫》

※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

- ⑤二次のはじめは、取り組む問題等の負荷を少なくし、活動の仕方や流れ、教具の使い方が理解できるように計画していますか
- ⑥段階的に働きかけや教具の手がかりを減らす、問題の難易度を上げるなどのような計画をしていますか

※友だちと学びあうために…

⑦はじめに一人での活動に取り組み、仕方の理解をしたり、役割を果たしたりしてから、ペアやグループの中で活動する計画になっていますか

※深く考えるために…

⑧学習内容を細分化して、目標の姿に向かって理解すべきことを段階的に指導できるよう配列していますか

⑨自分で考えた仕方や解決方法等を生かせる学習の組み方になっていますか

※目的、目標を持って活動するために…

⑩取り組む問題、視点等の難易度を徐々に上げたり、増やしたりして、成功体験が重ねられるような配列になっていますか

《三次の工夫》

※進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

⑩できるようになったことを生かす活動を組んでいますか

⑪学習したことを実際場面で取り組む活動（実際場面を想定した活動）を取り上げていますか

3. 学習環境：場面設定について

○あなたが考える意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

※自分から進んで活動するために…

③活動の見通しが持てるように場所を分け、次の活動に進む気持ちを高めるように考えられていますか

④児童生徒が期待感（やってみたい！）を持てるような特別な工夫がされていますか

4. 学習環境：課題、目的、役割、決まりなどの設定について

○あなたが考える意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

意欲面と内容面で同じように必要な視点となります。同様の視点で工夫を考えるようにしましょう

①活動やその仕方、手順がわかりやすく伝えられるものになっていますか

②学習や活動の成果が見てわかるようになっていますか

③自分で仕方、手順、活動を確かめられるようになっていますか

5. 学習環境：教具について

○あなたが考える意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

⑦手がかりに注意が向きやすいですか

⑧考えたことを説明できるものですか

⑨頭の中で考えたことを操作できるものですか

⑩課題を意識できるように工夫されていますか

⑪自分で正誤や考え方を確かめられるものですか

⑫生徒が自分でわからないことが伝えられるものですか

⑬正誤がわかりやすいものですか

※自分から進んで活動するために…

⑭手がかりとなるものを複数用意し、自分で選択して活動できるようになっていますか

6. 学習活動について

○あなたが考える意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

《導入時の工夫》

※自分から進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

⑤前時までに学習した内容ができる（わかる）ことを実感できるような活動が組まれていますか

⑥本時の学習の活動の流れや活動量に見通しが持てる活動が組まれていますか

※目的、目標を持って活動するために…

- ⑦児童生徒が学習上の役割を意識することができるような活動が組まれていますか
- ⑧何のためにするのか、目的や意味、よさなどがわかるような活動が設定されていますか
- ⑨何をどのくらい、どのように取り組むかといった目標を持てるような活動が設定されていますか

《展開・発展時の工夫》

※自分から進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

- ⑩学習上の課題解決に向けて、問題の配列や取り組み方が易から難へと段階的に高まるように計画されていますか
- ⑪自分から取りかかれる、自分で正誤（良否）が確かめられる、同じ仕組みにして繰り返せるようにして、自分から次々と問題を解き進められる仕組みになっていますか
- ⑫間違いに気付いてやり直せる仕組みになっていますか

※友だちと学びあうために…

- ⑬友だちと一緒にいる、一緒に考える場面が設定されていますか
- ⑭友だち間で認め合う、評価し合う場面を設定していますか

※深く考えるために…

- ⑮解決方法や仕方などを自分で気付いたり考えたり決めたりする活動が組まれていますか
- ⑯自分の考え方や仕方を見直したり修正したりできるような活動が組まれていますか

《終末時の工夫》

※目的や目標を持って活動するために…

- ⑰学習した結果と目的がつながり、達成感を持てるような活動が組まれていますか

《学習活動全般における工夫》

- ⑱活動自体がわかりやすいものになっていますか
- ⑲児童生徒が気持ちを持続して取り組める活動量か、または、終えることのできる活動量を設定していますか

7. 教師の働きかけについて

○あなたが考える意欲的な姿を導くために必要な視点を選んで工夫を考えて見ましょう

※自分から進んで取り組む、続けて取り組む、最後まで取り組むために…

- ⑦児童生徒の期待感を持たせる、気持ちを盛り上げる、教師に注目することができるようにするための働きかけでは、言葉に抑揚をつける、身振りを加える・表情を変化させる、児童生徒の好きなもの・言葉を用いるなどの工夫が取り入れられていますか
- ⑧学習活動への取りかかりの場面では、児童生徒の実態に応じて、取り組む課題を意識できるように、学習に必要な道具は一人ずつ呼名して手渡しするなどの工夫が考えられていますか
- ⑨児童生徒の活動が止まったり、教師が意図する反応をしなかった場合に、児童生徒のつまずきを解決する（本時のめあてに迫る）ことにつながるような問いかけ、教具の提示など、段階的な働きかけが考えられていますか
- ⑩活動をしているときに、できている部分を十分にほめた上で、課題（本時のめあて）となる部分について「○○ができるようになるといいね」などと、課題の遂行につながるような効果的なことばかけが考えられていますか
- ⑪児童生徒の活動を認める場面では、何がよかったのか理解できるように、行動が起きた直後にほめる（即時強化する）ようにしていますか

※目的、目標を持って活動するために…

- ⑫誤答であったり、できなかつたりした場合に、児童生徒が本時の課題（めあて・ねらい）を意識できるように、何がわからなかったのかを探ることができるような問いかけが考えられていますか

⑬児童生徒の活動を認める場面では、自分がしたことが何につながるのか、したことのよさや価値を伝えられるような働きかけの手立てが考えられています（活動の意味づけかが考えられていますか）

※深く考えるために…

⑭児童生徒が自分で判断したり考えたりできるように、生徒の出方を待ったり、「次はどうするんだっただかな」などの問いかけをしたりするなど、働きかけを減らす、段階的にしていくように考えられていますか